県税　個人事業税（前期分）納期　[illegible]月三十一日　口座振替の利用を

これだけは是非

「健康の町」宣言

一日三分間体操の実施

三隅

昭和44年
8月9日
104号

発行所
三隅町広報委員会
発行者　森沢雄治
編集人　斉藤元宣

人口のうごき
7月31日現在

世帯数		1,788戸
人口	男	3,633人
	女	4,052
計		7,685

夏休みと生活経験

◆健康と安全と鍛錬

それぞれの家庭で、わが子の毎日の生活が健康安全で充実したものであるよう、配慮されると同時に、子ども会活動や交通・水難事故防止にご協力いただいております。炎天の運動場で子どものドッジボール練習につきあつておられるおかあさん、プールや部落水泳場所で汗をふきふきの監視当番、子どもたちの体力つくりをねらつてのランニング指導等、見聞して感謝しております。

◆生活意欲の強い子に

学校生活のあるなしにかかわらずいえることは、意欲的に毎日を何かしよう―しなければならぬ何かをもつ子どもでありたいことです。毎日の生活が、学習でもよし、水泳・自転車練習・せみとりでもよし、学年に応じた意欲的な生き生きしたものでありたいと思います。

◆自主的学習

学校の夏期休業がただ単に暑さしのぎの、健康上の問題にのみによつてあるのでなく教育上に大きい意味があることを考えたいものです。

子どもたちは、ふだんの学校中心の生活から離れて、家庭・部落での生活が主体になります。そしてその大部分の時間が自分の自由に好きなように使われます。放縦で不規律な生活に墮し易い反面、自由で好きに利用できるこの休みでなければできぬ課題が果たせるともいえます。学校のある時にできないような仕事をすることが、休みの趣旨にあつた最善の過ごし方ではないでしょうか。

◆生活経験を豊かに

家族の一員として、家庭の仕事をぜひ分担させてほしいと思つています。なお、お盆の行事や親せきとの交際、旅行など、子どもの社会的な生活経験を豊かにする機会が多いのもこの休みの特長でしょう。

（明小校長　野村真一）

防犯

①暑くても夜の戸締りは忘れずに、昼間家をあける時は必ず鍵をかけ、隣近所に頼んででかけましょう。

②海水浴場や夏祭りなど人混みの中では貴重品等に注意しましょう。

③酒に酔つて人にからむなど小暴力や迷惑行為は皆の力で追放しましょう。

④女性の服装や態度には十分気をつけましょう。挑発的な姿態や肉感的な服装は痴漢を誘うもとです。

⑤子供の行動や持ち物には十分気をくばり、水鬪事故や花火、交通事故のないようにしましょう。

⑥長い夏休みでとかく不規則な生活となり、知らぬ間に不良化します、子供と話し合う機会をもちましょう。

⑦車を運転される方に海水浴や魚釣り、キャンプ観光旅行等自家用車、観光バスの過労運転、運転不慣れ、危険な追越し飲酒酒酔い運転は必ず慎しみましょう。

郷土の先賢
その 13

土方政人

野波瀬

明治八年、八幡宮宮司古屋怱次の次男に生まれる。明治専門学校（現明治大学）を卒業し、野波瀬土方朝熊の養嗣子となりその家督をついだ。北清事変や日露戦役に従軍して帰郷し、村会議員となりついで野波瀬漁業組合長に就任した。

当時組合は行づまり漁民の生活はあんたるものであつた。それには漁獲高を漁民の手によつて共同販売すること、すなわり魚市場営業権を組合の手に握ることであつた、それ迄の営業権は村有で、賃貸の方法で業者に経営させていたので、高い利潤を業者に吸収され、生産者である漁民はみじめなものであつた。

そこでこれを村会により解決しようとしたが、当時は農村出身の議員多く、賛同するものもなく、孤軍奮斗その努力は並々ならぬものであつた数年を経てついに漸く全議員の賛成を得て営業権を獲得し漁村の共同販売という方法をとつて、従来の中間業者の利潤を悉く漁民の手に入るようにした。

又野波瀬浦専用漁業権についても自ら資料を収集、上級官庁への陳情等は私財をなげうつて日夜努力し、その目的を達した。

更に飲料水の問題についても簡易水道を敷設し、渇水期に特に漁民の家族が難渋していたことを解決した。

この様な事蹟により野波瀬は現在のような発展の基をなした。漁民はその徳に報ゆるため歓喜して生前に「頌徳碑」を建立する議が起り、現在のぼせ入口疫神社境内にあるものがこれである。

生来剛健で廉直、常に志を公共のことに傾け生涯をあげて隣人のために捧げて悔いたかつたたまものである。幸い子孫も阪神において企業を自営され、三中卒業生も多くその会社に仂き、常に父「政人」の如き生活信条をつらぬいておられる由である。

（夏山の手入　汗は目に泌む粒となつて流れる）

!!夏山の手入れは終りましたか!!

造林木が樹高成長をはじめ雑草木類との競争が激しくなるころ、即ち被圧状態になる前に行うことが大切です。

下刈の対象植生の再生能力を減退させる時期（生育の初期の成長は前年度の貯蔵養分によるので　その貯蔵養分の最も減少した時期）に行えばしだいに生活力を減じて、下刈のくりかえし回数を少くできる。フジ、クズ、ヤブガラシ等、ツル類の多い土地もこの時期にやることが最も望ましいので、まだのところは早めに手入れをされるようお勧めいたします。

ハンター保険全員加入

狩猟中誤つて他人を撃ち、けがまたは死亡させた場合には、それ相当の賠償金を支払わなければなりません。この狩猟中の事故に対しては強制的な保険はなく任意保険としてハンター保険があるだけです。

大日本猟友会ではハンターの激増した今日このような不慮の事態に備えるため共済制度を作り会員の方に洩れなく加入して頂きたいと思います

ご加入の時期については銃器による有害鳥獣駆除者は九月一日からその他の方は十一月一日を期して加入されるようお奨めいたします

加入申込書のとりまとめは三隅町猟友会の役員にお願いしておりますので、その方へ申込み下さい。

ハンター保険保険料表

	契約額	保険料
①第三者賠償	五〇〇万円	九八〇円
②ハンター自身のけが	五〇万円	二八〇円
③猟具の盗難またはき損	一〇万円	四二〇円
④猟犬の死亡	三万円	一〇五円

〃注〃　①のみの契約、または②と③と④のうちからいくつかを組合わせたものを契約することができ、この選択は各自の自由です。

夏の社会体育

◉記録

水泳教室　少年の技能を向上し、リーダーの養成をおこなうため七月六日から五日間、八時間にわたり町営温泉プールで実施した。体育協会河崎水泳部長や生韲高校生補助員達の指導のもと、小学生五年以上と中学生約五〇名が参加。うち皆勤者十九名、町体育協会認定の水泳進級県による十三級から七級までに三十六名がパスし正式に認定。

青年バレーボール教室　バレーボールに対する知識と技能を修得するため、五月三日から、九月末まで毎月二回、夜間三隅中と浅田小講堂で勤労青年約五十名が受講している。体育協会大野バレーボール部長他の指導で簡易ゲームや審判法の実習も計画。

全国スポーツ少年大会派遣　七月二十六日から三十一日まで山梨県及び東京都で開催され、山口県代表二十三名に交つて磯野久美子さん（市）と宗本浩二君（宗頭）と女性引卒者として徳田照子さん（市）が参加。

ラジオ体操会　節度を保ち、暑さにうち勝つため、八月二十五日まで町内四十八会場で実施し大人の参加を呼びかけている。

子ども会球技大会　八月八日〇九一〇より町民グランドとその周辺で男子ソフトボール、女子ドッヂボールのブロック戦をおこなう。

◉予定

中学生高校生球技大会　八月十一日〇九〇〇より町民グランドで、男女混成によるソフトボールとバレーボールの部落対抗戦。

町民盆踊り大会　八月二十日二〇〇〇より町民グランドで、部落や職場団体チームの出演と湯免小唄の総おどりを行う。

水泳選手権大会　八月二十四日〇九〇〇より温泉プールにて、小中高一般とも自由参加による個人競泳。

郡子ども会球技大会　八月二十四日〇九〇〇より日置小、中学校グランドで、男女混成の二チームが町代表として参加

スポーツ少年県大会　九月九～十一日まで秋芳台で開催。本町より女子一隊（引卒吉見美恵子宗頭二市二、浅田一名）を派遣。

人づくりは町づくり

文化的町民

教育優先の本町の政治が末端にゆきとどけば、一人ひとりの町民が文化的な町民に成長するようになる。

「文化的」と人びとはよく口にするが、いったい文化的な人とはどんな条件を身につけている人のことかと、たづねられると確信をもつて答えられない。先づ自分じぶんでジックリと考えてみる。そして家庭で職場でいろいろの集会で「文化」を話題に上して話しあつてみたい。

文化センター

文化センターとは文化推進の中心的役割をはたすための施設設備やそれを運営する人びとを含めたものの総称である。

学校は児童生徒の教育の向上を目的としている所だから文化センターの一つと言えるが、その地域の学校の有無が文化センターの条件を大きく左右することにはなるまい。

想定する宗頭文化センター

町民のひとりとして私の頭に浮ぶ宗頭文化センターの姿を次のように描いてみた。

○宗頭小学校通学区内に住むすべての住民の全生活を、より豊かに、より高く、よりたのしくする役割をはたさねばならぬ。

○幼稚園は独立したりつぱなものに充実する。三才児以下の幼児は、その母も対象に加え保健育児の相談所を併設する。

○小学校が複式学校になる場合は特にジツクリ考えて、小学生時代の教育に欠陥のおこらぬようにする。複式学校になると先生の数は減ることはあきらかである。住民特に保護者が改築される明倫校に通学させる方がよいと考えられても、いろいろの対策を立てる必要がある。たとえば文化センターに緑地帯を持つ運動場といろいろな体育遊具はもちろんプールなどを保有することなどである

○公民館、図書館兼博物館は是非必要で、集会室娯楽室（和洋両室）も整備し専任職員も常置して住民文化向上にサービスする。

○子どもの部屋、青年の家、婦人の部屋、老人いこいの場、それに農林生産相談部をおく。

○町営の保健診療所を新設し懸案の「無医地区」を解消し、住民健康管理に便益を与える。

○文化センターまでの町道は舗装され、定期的に町営マイクロバスが運行される。

（教育長　中野四郎）

自衛官　県警察官　募集　町総務課へ照会